



人権・平和
学習視察

杉原千畝記念館を訪ねる

今井地区人



権啓発推進協

議会議主催の視察研修が2月27日(土)に行われ、30名が参加し「人間愛の人 杉原千畝」の功績を称えた記念館を訪ねました。映像を見ながらの國枝館長さんの話を聞いた後、施設の見学をしました。

1933年、ドイツにナチス政権が誕生しヒトラー独裁のもと、強大な軍事力に物を言わせ、周辺諸国を次々と併合していきます。そして1935年にナチスが定めた法律によりユダヤ人の市民権が剥奪され迫害が始まります。1939年にドイツがポーランドへ侵攻するとロシアも侵攻し、ポーランドは東西に分割されました。このような大変な年にリトアニアの領事代理(領事はいなかった)ので実質上の領事となったのが外交官の杉原千畝です。1940年、リトアニアなどバルト三国はドイツ



國枝館長さんの説明

連行が頻繁に行われ迫害は激しさを増してゆきます。当時ポーランド在住のユダヤ人は350万人と言われ、彼らは魔の手から逃れようと手を尽くし、北へ逃れることができた人達が辿り着いたのがリトアニアでした。ナチスの迫害から逃れるため彼らの進む道はただ一つ、それは「ロシアを通り、日本へ上陸した後アメリカへ渡る」というものです。ある朝、領事館の庭をユダヤ人が埋め尽くしてしましました。日本を通るビザの発給を求めて。しかし、1939年に「日独伊三国同盟」が締結されていたため、ビザの発行

は同盟国への背信行為に他なりません。杉原は、日本政府に事情を説明し日本国内通過のためのビザ発行の許可を打診したのですが、答えは「ノー」でした。ユダヤ人達の惨状を考えながら悩み抜いた末に、彼は「命令に背いてもビザを発行しよう」と決心し、こうして「命のビザ」の発行が始まったのです。早朝から夜遅くまで食事の時間も惜しんでの作業です。その一方で外務省宛に、ビザの発行を始めたことを報告しました。翌日、「即刻領事館を閉鎖し退去せよ」の電報が届きますが、これを無視して発行を続けました。一方ソ連からは「8月一杯に領事館を閉め国外退去を」の通告が出されていました。翌日には日本から「領事館を閉鎖し直ちにベルリン大使館へ行け」との電報に、従わざるを得ず、こうして発行は終わりとなりました。やがて連合国側に無条件降伏して大戦が終結し、杉原他日本公使館の関係者はソ連軍に拘束され、先の見えない生活が始まります。1946年12月、突然の連絡により、シベリアを経て帰国の途につきまます。長く辛い

No.323
今井公民館
館報編集委員会
電話 59-2001
FAX 59-1004

旅の末、彼等は1947年2月博多港に帰りました。そして官職を追われます。それからの生活は平坦なものではありませんでした。一方、命のビザによって日本へ渡りそれぞれの国へ渡ったユダヤ人は6000人と言われ彼等は世界各地に逃れ、イスラエルには多数の人々が移住していました。昭和43年8月「命のビザ」により救われた一人の来訪者が探し求めていた杉原と再会したことにより、命を賭した人間愛に満ちた彼の偉業が世に知れ渡ることとなりました。昭和60年、イスラエル政府から「諸国民の中の正義の人賞」を贈られました。このことが多くのテレビや新聞で世界に向け報道され、大きな反響を呼びました。2000年、外務大臣によつて外交史料館に杉原千畝顕彰プレートが設置されました。世論が国を動かす、彼の信念による「人命を守る」という勇氣ある行動を国も認めざるをえなくなつたのです。「真の人間愛とは、勇氣とは何か」を考えさせられる一日となりました。(資料「杉原千畝物語」金の星社)

北風南風

体を動かすことが、比較的好きな私ではあるが、還暦を過ぎたこの頃、やたら体の衰えを感じる事が多くなつてきた▼細かい字など特に夜には見えない。携帯電話は何処? 昨日の夕食の副菜は何だった? など思いつくのに時間がかかる▼週一でエアロビクスを14年ほど続けているが、この頃は、初見でインストラクターの動きに付いて行けない時もある。又、平らな所で躓く事もよくある。体が硬くなり、柔軟体操がきつい▼それでも、私が老いては行かない。我が家には、私たちの上の世代が健在なのだから。インストラクターの動きをよく見、脳で確認し、手足の運動神経へ伝達し体を動かす。『脳活、脳活』そう思いながらも時々さぼりたくなる日もある。そんな時主人が『今日はエアロビだよね。早く夕食を済ませて行かなくちゃね。』と背中を押ししてくれる。又、会場が改善センターと近い事も、長続きしている理由の一つだ。衰えに、少しでもブレイキを懸けるべく、マイカーの軽トラで、これからも、改善センターへ通います。(A.M)



【町会長】

連合会会長 (東耕地) *古田 善雄

連合会副会長 (南耕地) 矢島 文雄

上新田町会長 藤澤 貴仁

堂村 // *上條 和幸

中村 // 藤本 圭一

中沢 // *馬留 良一

下新田 // *丸山 一郎

境新田 // *下田 益義

西耕地 // 大槻 義治

北耕地 // 三村 博昭

野口 // 藤田 光栄

古池 // 大槻 均

西原 // 小林 清美

北今井 // *滝沢 清二

公園西 // 鷺沢 実男

【町内公民館長】

館長会会長 (西原) 横山 俊彦

館長会副会長 (野口) 池田 直樹

上新田公民館長 柏原 雅雄

中村 // 藤森 明

南耕地 // 山村 光久

西耕地 // 清澤 幸則

北耕地 // 上條 忠茂

古池 // 前田 正彦

公園西 // 今村 厚子

体育協会会長 溝上恭一郎

財産区議長 武居 孝治

衛生協議会会長 上條 正

衛生協議会副会長 三村 清亀

衛生協議会副会長 三村 清亀

民生児童委員協議会 会長 (上新田・堂村) 古川 義郎

副会長 (中村・中沢・下新田) 原 愛子

境新田・東耕地 中沢 東二

南耕地・西耕地 村山 悦子

北耕地・北今井 杉山 洋子

野口・古池・西原 中島 親

公園西 中村美智子

民生主任児童委員 清澤三和子

町会婦人部長 本間 舞美

健康づくり推進委員 橘 ゆみ子

食生活改善推進協議会 会長 桜井 幸子

福祉ひろば推進委員 矢島 文雄

今井福祉協議会会長 古田 善雄

子ども会育成会長 丸山 祐介

消防団第20分団長 清澤 考一

交通安全協会支部長 丸山 祐介

中信平右岸土地改良区担当理事 上條八百喜

今井担立保健師 上條 博文

今井担立保健師 今溝 由佳

今井担立保健師 上杉 章子

今井担立保健師 山本 松雄

今井担立保健師 杉山きくみ

公民館主事 藤澤 康雄

公民館主事 今井 学

公民館主事 横山 俊彦

公民館主事 野尻 光

公民館主事 櫻井 英彰

公民館主事 村山 和男

公民館主事 古池 健一

公民館主事 丸山 毅

公民館主事 矢嶋 明

公民館主事 南耕地

つがやま No.261 「100円バス万歳」 矢嶋 明 (南耕地)

71歳の時に松本市福祉100円バス助成事業による市内全バス路線及び上高地線電車乗車バス券が交付されました。以前は松本への用事があつたとき、時間の調整ができる自家用車で行きましたが、衛生協議会の会議は午後が多く、また、ごみゼロ運動は朝

公園西に信号機新設



県道松本平広域公園線ス字路交差点に信号機が設置され、3月30日より稼働して

平成28年度4月入園入学生徒数

○鉢盛中学校 全生徒 492名 (内今井地区 96名) 28年度入学 182名 (内今井地区 30名)

○今井小学校 全児童 163名 28年度入学 27名 (内今井地区 22名)

○今井保育園 全園児 72名 28年度入園 22名



9時間催で駐車場は満杯となり難儀したことがありました。今では100円バス券を利用しています。松本へは約30分位で着きます。バスにゆられながら車外を眺めて行く

時には帰宅が遅くなる用事の場合、行きは連れ合いに松本空港まで送ってもらい、帰りに立ち飲みのお店で焼き鳥屋で一杯飲み、見ず知らずの客と世情の会話を交わして充実した1日を感じつつバスにて帰途につきます。高齢者はおおいにバスを利用しましょう。参考までに松本発最終バスは松本空港止まりですが午後8時50分です。